

私達が住む横浜の160年前は戸数100戸足らず、人口300人という半農半漁の一寒村であったのです。正に森鷗外先生作詞の横浜市歌「昔思えば苦屋(とまや)の煙、ちらりほらりと立てりしところ」でありました。「今は百船(ももぶね)百千船(ももちぶね)とまるところぞ見よや」は間違いなく大発展してきたのですが、世界有数の汽船に新型コロナウイルス陽性の人々が香港まで船客でいたと言うことで楽しいクルージングは一変しました。日本いや世界中の人々が恐怖を感じるようになったのです。新型コロナウイルスは中国武漢市で発症し今や全世界を網羅する勢いになりました。横浜発着のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」は大黒ふ頭に接岸し陽性の方を降ろして特別の医療施設に運び、後の方は船室に14日間を発症保護期間として船室から外部への外出を禁じました。しかし、筋書き通りには行かず数日間に3桁の陽性患者がでて短期間に大変な数字になったのです。予防手段はマスクですがたちまち売り切れ、生産が追いつかないと言うのです。観客の多いスポーツ大会などは取りやめ、延期などの処置をとり始める寸前の横浜市民ミュージカルは、雨の日にもかかわらず無事に大盛會に終え誠にラッキーでした。

この緊迫感の中でいいお話を読みました。武漢市在住の日本人を日本に迎えに行った5便の飛行機に武漢の人たちに必要なマスク、手袋、防護服、消毒液などを飛行機一杯に積んでお届けし、箱には「武漢加油」(武漢頑張れ)と書いてあって、中国の人が皆感動したと言うのです。大阪でも商店街で「武漢加油」というポスターを張り「お互いに元氣を出そう」という運動をしていると言います。

翌日、私たちのスタジオでスタートした「バレエ教室の発表会」に招待されましたが、必ずマスクを使用してくださいと連絡がありました。15年位前、スタジオを貸してください」と言う女性がいて、その謙虚な態度ややる気が普通ではないと思えたのですぐ承諾しました。「それでお弟子さんは何人くらい」と聴きましたら「まだいないんです、誰かいませんかね」との答えでした。

私は、この人なら人を紹介しても大丈夫と思ひ、友人のお孫さんで小学校の低学年の双子ちゃんはどうかと思ひて声をかけました。「それこそ一番弟子だからいいじゃない」と誘ったら、数日たって「孫をお願いします」と返事がありました。やはり人柄ですね、どんどん増えて「クラスを増やしたい」と言うことでスタジオの近くに独自の場所を借り、更に「みなとみらい」にも教室を作りました。今回の発表会は13回目になりますが、プログラムの生徒さんの写真を数えると100人近くになるので驚きました。観客は皆マスクなので先生のお父様が解らず、らしいと思う方にお訪ねしてようやく解ったのです。「松永さんのおかげで盛大な会になりました。本当にありがとうございます」と御礼を言われました。紹介した一番弟子は2人とも今、アメリカの大学にいます。

さて、私が中学に入った年「天然痘」という伝染病が流行りました。非常に感染力が強く死亡率が高く、治っても顔にあとが残ると言うやっかいな病気です。発症した家はロープで通行止とし、近寄るなど書いた紙が貼ってあるのです。友人と歩いていてその表示を見たとき私は反対側の道路へ行きました。

「こどもの日コンサート2020」
5月5日(火・祝) 横浜みなとみらい大ホール
①13:00~14:00 ②15:30~16:30
高校生まで¥1,000 大学生以上¥2,500(団割引有)
出演:赤い靴ジュニアコーラス、ミュージカルキッズ 他



写真「横浜どんたく」舞台風景

すると一緒の友人は私の学帽をとってその家のロープの中の空気を掏うように帽子に入れ私に被せました。大変な悪ふざけです。気持ちが悪いので母に話して磯子滝頭にあった万治病院に隔離され、今のうちに感染源が瞬く間に世間に知られるネットワークも乏しく、ただ「うつるから滝頭の方には近寄ってはだめだよ」と言われたことは記憶にあります。今、天然痘は絶滅したと言われます。

さて横浜市民ミュージカル「横浜どんたく」音楽の架け橋は圧巻でした。薩英戦争で負けた薩摩藩主島津久光が船上の調印式で聞いた軍楽隊の調べに魅せられ、薩摩藩でも作りたいたいと艦長に頼んだが、軍艦の軍楽隊は移動するからと横濱の外国奉行を紹介され、横濱に駐屯している軍楽隊長フェントンに指導を受けることになりました。薩摩から30名の若い侍が、1200年前に山手の丘に建てられた名刹「本牧山妙香寺」の本堂を練習場と生活の場としても許されたのです。同時に薩摩藩で西郷隆盛の親類、砲兵隊長 大山巖はフェントンより「これからは世界の要人を迎える時のため国歌は必要」と言われ薩摩琵琶曲「蓬莱山」を送り詩をローマ字で書いたと言います。その曲は明治天皇の御前で演奏したのですが、日本人の中では旋律がなじまず、雅楽風にして今の国歌になっています。妙香寺には「国歌君が代発祥の地」と「日本吹奏楽発祥の地」の石碑が並んで建っています。物語では主人公の若者が西洋の音楽に魅せられて、彼等の中に入りたく内緒で見聞き練習しているのですが、異人嫌いの祖父が絶対許さず、フェントンの奥さんアニーの心が祖父の心を動かし、初めての演奏会に主人公はサツマバンドの一員として演奏し、人々に感動を与えました。日本で初めての吹奏楽はこのドラマのように横濱に生まれ、今につながっているのです。また、幕末から宿場と料亭で有名な台町の田中家の様子も生き活きとしていました。かつては勝海舟、高杉晋作、西郷隆盛、坂本竜馬など倒幕の志士が集まったと聞いています。龍馬死後、妻の「おりよう」は勝海舟の紹介で田中家の仲居となって「月琴」を弾き、得意な外国語で外国人のもてなしをしていたといひます。ご覧の方々から脚本、演出、音楽の素晴らしさとキャストの皆さんのエネルギーに勇気をもられたとの声がありました。

今後のスケジュール

4/13(月)~15(水) 国際シニア合唱祭 「ゴールデンウェーブ in 横浜」 横浜みなとみらい大ホール 出演:13日ザ・シワクチャーズ横浜
5/5(祝) こどもの日コンサート 横浜みなとみらい大ホール 出演:赤い靴ジュニアコーラス 赤い靴ダンスキッズ・神奈フィル他
5/26(火) 横浜シネマパラダイス 横浜みなとみらい大ホール 懐かしいヨコハマの風景と流行の映画音楽 15時開演 新日本フィルハーモニー ナビゲーター 池辺晋一郎(作曲家) ドラマトウルク 中村高寛映画監督 ゲスト 松永春 赤い靴団長
6/14(日) 関内大ホール ¥600 自由席 「中区ダンスフェスティバル2020」 第1部 13時~、第2部 18時~
6/28(日) 赤い靴ジュニアコーラス 第33期定期演奏会 杉田劇場
8/1(土)・8/2(日) 横浜市民子ども ミュージカル 関内小ホール

※下記2件の横浜市・神奈川県主催の事業は内閣府発表の方針に合せ残念ながら中止となりました。
★3/11(水)中区町内会長感謝会
★3/15(日)かながわミュージカルアワード「ワタシノユメ」公演

2020.2.29 団長 松永春